

2024年10月22日

博士人材の民間企業における活躍促進に向けた検討会(3)

委員提出資料2

博士人材育成について 北海道大学および博士人材育成コンソーシアムの活動

北海道大学 大学院教育推進機構
先端人材育成センター
博士人材育成コンソーシアム
吉原 拓也

北海道大学のキャリア支援体制



役割分担

先端人材育成センター

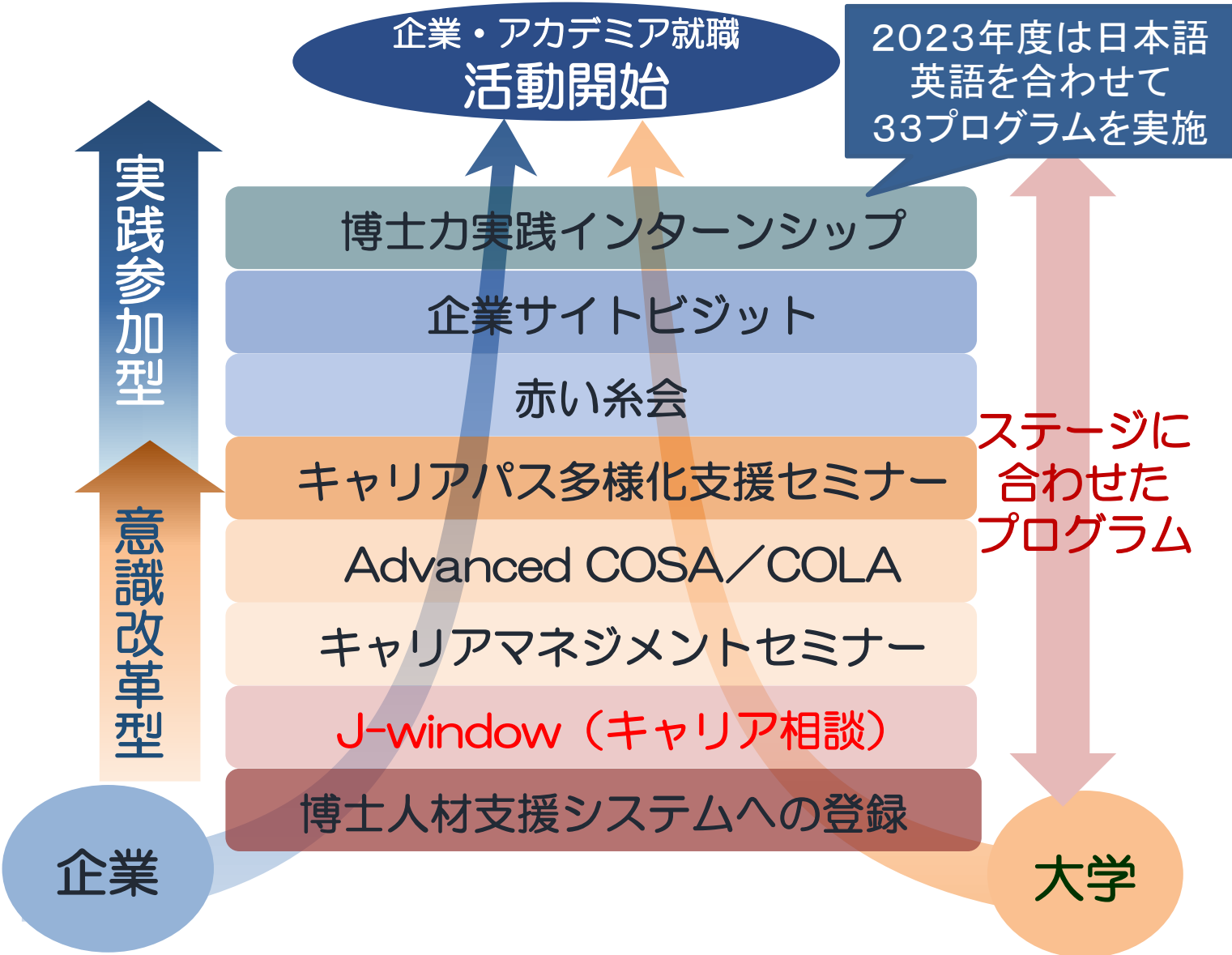
（博士課程進学およびアカデミア志望は全学年）

キャリアセンター

（公務員志望等は全学年）

- ・学部から博士まで連続的に一貫したキャリア教育、キャリア支援を実施
- ・対象人数、支援内容、支援員に求められるスキル、就職先等が異なるので、それらに合わせた支援を提供
- ・必修科目（北大、北大大学院での学び）で学部～博士迄のキャリアを学ぶ
- ・各部局の就職担当教員との意見交換会、入学式ガイダンス等の共催
- ・全学キャリア関連セミナー、イベント等の調査
- ・一貫したキャリア教育・支援に関するシンポジウムの開催（予定）

先端人材育成センターのキャリア教育、支援



- ・キャリアパスの考え方
キャリアマネジメントセミナー
大学院共通授業科目
毎年500名ほどが受講
- ・博士のロールモデル
A-COSA (理系)
A-COLA (文系)
- ・博士と企業の交流会
赤い糸会
企業サイトビジット
- ・個別面談
新スプリング新規採択学生
は全員面談 (一部外部委託)

参考：キャリアマネジメントセミナー

2024 年度 キャリアマネジメントセミナー

①大学院共通授業科目【時間割番号：101225】 ②生命科学学院専門科目（博士後期課程）【時間割番号：058052】
③水産科学院修士課程学院共通科目【時間割番号：044141】 各2単位

ELMS 授業グループ内にて、オンデマンド授業形式で開催します。
毎週月曜日（3・4・14 講のみ火曜日）13:00 より配信開始
その週の日曜日 23:55 まで視聴可能

※履修登録をすると自動的に ELMS 授業グループに参加登録され受講が可能となります。
配信開始までに履修登録が間に合わない方はこちらへ →



配信開始日		内 容	講 師
4月15日（月）	1	イントロダクション - 大学と企業の「研究」の違い	吉原 拓也 先端人材育成センター
4月22日（月）	2	イノベーションを起こす - 社会の変革はどう起こるか イノベーションとは何か	吉原 拓也 先端人材育成センター
4月30日（火）	3	企業の種類と分析 - B to C / B to B とは？研究開発投資、有価証券報告書など	片垣 麻理子 先端人材育成センター
5月 7日（火）	4	自己理解 - 自分らしいキャリアとは？自分を知り表現して、キャリア選択の軸を見つける	村上 理恵子 先端人材育成センター
5月13日（月）	5	プレゼンテーション - プレゼン力を高めるキーワード「伝わる」を実践的に習得する	松尾 誠二 イノベーション・ キャリア・サポート
5月20日（月）	6	知的財産マネジメント - 事業戦略とそれを支える知的財産マネジメント	吉原 拓也 先端人材育成センター
5月27日（月）	7	アントレプレナーシップ - 自由な生き方を得るためのスモールビジネス起業術	板羽 宣人 ベビログ
6月 3日（月）	8	マーケティング - 技術・商品と顧客をつなぐ、マーケターの仕事	小糸 達也 N E C
6月10日（月）	9	発想法 - 研究と社会をつなぐ創発思考	藤本 徹 東京大学
6月17日（月）	10	商品創造／新商品開発 - セキュリティ・安心などの無形の商品に観るその概念構造と価値	甘利 康文 セコム
6月24日（月）	11	企画書の書き方 - 企画書の目的を理解し構成や書き方を学ぶ	吉原 拓也 先端人材育成センター
7月 1日（月）	12	企業（1）先端技術と新規事業 - ポストコロナのエアライン～移動価値や旅を再考する～	津田 佳明 ANA ホールディングス
7月 8日（月）	13	企業（2）先端技術と新規事業 - オープンイノベーションによる新しい価値の創出	矢藤 希有 ソニー知的財産サービス
7月16日（火）	14	企業（3）先端技術と新規事業 - ハウス食品グループにおける中期計画と新価値創出活動	上野 正一 ハウス食品グループ本社
7月22日（月）	15	リーダーシップ - だれもが必要！リーダーシップ	板倉 朋宏 企業人事経験者

■責任教員■ 大学院教育推進機構 先端人材育成センター 教授 吉原拓也
電話：011-706-3275 Mail：s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp URL：https://fohred.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic
◇共催◇ 北海道大学 大学院教育推進機構 先端人材育成センター 上級人材育成部門 I-HoP・連携型博士研究人材育成推進部門 COFRE
博士人材育成コンソーシアム
◇協力◇ 北海道大学キャリアセンター



- ・大学院生がキャリアを考える入りロイノベーション
- 自己理解
- 企業の種類、調べ方
- 大学院生のプレゼンテーション
- 知的財産のマネジメント
- アントレプレナーシップ
- 企業の新規事業とは・・・
- ・多彩な外部講師によるリアルなキャリア
- ・オンデマンドで海洋実習等にも対応
- ・演習形式のセミナー等への接続

赤い系会（博士と企業の交流会）

大学院共通授業科目・生命科学院 生命科学専攻 大学院（博士）専門科目「博士研究者のキャリア開発研究」

第56回



赤い系会

HOKKAIDO UNIVERSITY

2024.10.17(木)9:30-19:30

場所 札幌グランドホテル 住所：札幌市中央区北1条西4丁目
※札幌キャンパス以外から参加される方には旅費の補助があります

対象 DC・PD
※初めて参加する方はプレゼンテーション演習の受講が必須です

申込 Hi-System よりお申し込みください **申込締切** 7.31(水)16:00
<https://fohred.synfoster.hokudai.ac.jp/s-cubic>

参加企業
(50音順)

旭化成 アミノアップ 京セラ クレハ 神戸製鋼所
サントリーホールディングス 島津製作所 住友化学
住友金属鉱山 トクヤマ とめ研究所 日本電気
日本入試センター パナソニックホールディングス
ブリヂストン みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
レゾナック (旧:昭和電気)



詳細はHPへ！

お問い合わせ 北海道大学 大学院教育推進機構 先端人材育成センター 上級人材育成部門 S-cubic
011-706-3275 s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp <https://fohred.synfoster.hokudai.ac.jp/s-cubic>

共催 北海道大学 大学院教育推進機構 先端人材育成センター
上級人材育成部門 I-IOP・連携型博士研究人材育成推進部門 COFRE
博士人材育成コンソーシアム

協力 北海道大学キャリアセンター



博士人材と企業
の
直接交流の場

8月初旬

プレゼン用ポスターを作成



プレゼン演習



10月17日
開催当日

赤い系会
HOKKAIDO UNIVERSITY

09:30-09:50

開会挨拶

09:50-12:00

講演会

企業からのショートトーク

※12:05-13:05 昼食会

13:05-15:15

博士人材の
ポスター発表

DC・PDによる自己スキルのPR

※15:15-15:35 休憩・投票

15:35-17:35

企業ブース交流会

DC・PDが企業ブースを
訪問して意見交換

17:35-18:00

閉会挨拶・休憩

18:00-19:30

情報交換交流会

札幌グランドホテル内 金枝

*DC・PDの方は参加必須

Matching!



本会をきっかけに
研究開発やインターンシップへ！

- ・事前にガイダンスおよびプレゼンテーション演習（博士は必須）

- ・当日は企業紹介、博士のポスター発表、企業ブースでの意見交換、情報交換交流会（懇親会）を実施

- ・年オンライン2回、対面1回

- ・平成18年度に相互交流を目的として開始

- ・10月に第56回実施済み

- ・参加企業は学生のニーズ、博士の採用実績、博士が活用できる環境があるかどうか等で決定
- ・近年は前年からの参加予約が増えている

赤い系会（博士と企業の交流会）

➤ 参加学生の変化

- ✓ 従来の理学、化学、工学等に加えて、文系、純粋数学、保健、医理工など多様な分野の博士が参加するようになった
- ✓ 専門分野にこだわらず、博士の能力を活かしたいと考える博士が増えた

➤ 参加企業の変化

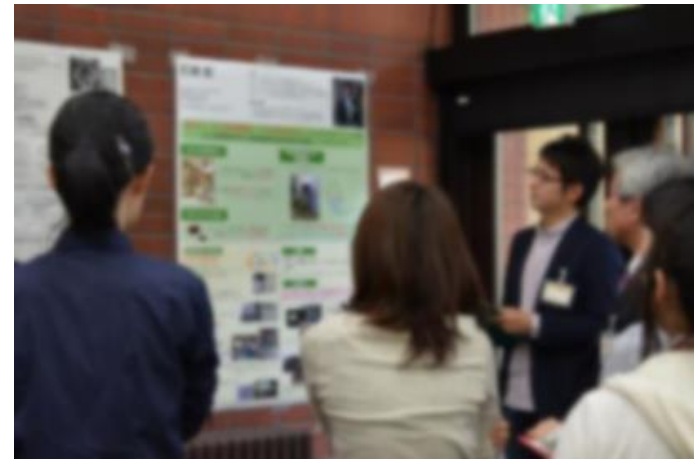
- ✓ 情報、電気、機械、化学、素材、医薬等の企業に加えて、ウェザーニューズ、日経BP、SAPジャパンなど安定的に博士人材を採用する企業が参加
- ✓ 採用の早期化を反映し、医薬→化学→情報・機械の流れ
- ✓ 札幌での実施にもかかわらず、対面の回の人気が高い
- ✓ 企業役員の参加や企業の見学などの要望が増えた
- ✓ インターンシップや研究所見学など更なる交流に繋がるケースが増えた

思いがけない出会いがあったというアンケート結果が多い

赤い系会の肝：プレゼンテーション演習

- 学会等でのポスター発表、プレゼンテーションとの違いを知る
 - ✓ 企業は研究内容を通して、博士の能力を見ている
 - ✓ 発想した経緯や工夫した点の説明から能力が伝わる
 - ✓ 社会的、学術的貢献を具体的に説明する
- 合格レベルまで繰り返し講師と改善する
 - ✓ 専門分野外の研究者や人事部門の方向けの説明に重点
 - ✓ 専門的な説明⇔わかりやすい説明をその場で調整できるように練習する
 - ✓ 非言語コミュニケーションも練習

赤い系会は単なる交流会ではなく、
トランスファラブルスキルを試し、伸ばす場でもある
これが長く継続し、企業にご参加いただけるポイント



博士人材育成コンソーシアム

13大学が連携して博士人材を育成

主な活動

✓ 博士人材育成プログラム、動画等の共有

(年100プログラム以上、多数相互参加)

✓ 博士人材育成ノウハウの共有

(年5回の専門委員会等)

✓ 合同イベントの実施

(合同企業説明会、企業との意見交換)



博士人材育成コンソーシアム

Consortium for Career Development of Ph.D.



コンソーシアムの効果

- 博士人材へのチャンスの拡大
(学会で自大学イベントに参加できなくても、他大学がある)
- 多様な博士人材への多様な支援
(理系、文系、留学生、企業就職、アカデミア志望等)
- 規模を活かした合同イベント、情報発信
- 連携大学の博士人材支援のレベルアップ
- 環境変化への対応をスピードアップ
- 博士人材育成人材の育成

単独では提供できない規模での博士人材支援を実現
現在はより、量→質への転換を模索中

参考：博士人材育成コンソーシアムの生い立ち

- 科学技術振興機構（JST）が
「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業」を公募
- 2014年に北大、東北大、名古屋大でスタート
- 2014～2021年度の事業
- 事後評価結果：最高ランクのS評価
→プログラムの共有、継続性のある仕組み
- 2022年度～「博士人材育成コンソーシアム」
として自主運営

参考：博士人材育成コンソーシアムの構成

- ✓ 規模（学生数等）が異なる機関
- ✓ 設置が異なる大学（国公立）
- ✓ 遠隔地（北海道～沖縄）の協業
- ✓ 運営委員会、専門委員会、分科会
- ✓ ギブアンドテイクの約束



博士人材育成コンソーシアム

Consortium for Career Development of Ph.D.

大学のキャリア担当教員の思い

博士は出る杭になれる人材

出る杭を活かす企業が増えて欲しい

博士人材と企業にはマッチングが特に重要

時代に合わせた大学、企業等が多様に相互交流する仕組みづくりが重要

現状では、早期修了したり海外で研究したりする優秀な博士が日本の就活スケジュールに乗れずに不利になる状況。秋入学、論文のスケジュールで3か月遅れなど様々なので、少なくとも博士採用は通年採用を取り入れていただきたい。